

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18 : 00~20 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 3 人	人	人	1 4 人

前回の改善計画
職員間でケアの統一を図ると共に、議事録にして再確認する。

前回の改善計画に対する取組み結果
身体状況や日常生活について、与えられた情報でとまってしまい、心にゆとりがなく、一步先に踏み込んだ支援へ繋がっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	9	1		1 4
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	1 3			1 4
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	1 0			1 4
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	1 1	2		1 4

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前、見学、体験利用していただき、安心納得した上での利用となっている。又、ご家族より、本人の生い立ちや現在の様子について聞き取り、支援の方向性を見極めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員間で、情報共有が出来ていない時があり、家族、本人、職員でズレが生じる時もある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
身体状況や日常生活について、職員個々に得た情報をミーティングノートで情報共有し、統一した支援が出来る様努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	2人	人	14人

前回の改善計画	個別ケアに対する知識が乏しい。研修、勉強会に参加し、スキルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	きっかけを作っても、継続出来ずにいる。自分の担当からじっくり観察し、周りにもアドバイスをもらいながら、具体的な支援へ繋げていく事が重要ではないか。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		12	1	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		14			14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		11	3		14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	5		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること その人の生活歴、趣味、関心事から支援へ繋がられるように努めている。又、職員間で情報提供し、無理のない支援を心掛けている。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「～したい」という思いに気付いても、「～できないのでは」と無理だと決めつけ、きっかけ作りに躊躇してしまう。結局、できる支援になりがちである。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 自分の担当からじっくり観察し、周りの職員からアドバイスをもらいながら、毎月の記録用紙に具体策を記入する。
---------------	-------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	14人	人	人	14人

前回の改善計画	職員間で申し送り事項が会話のみで終わってしまう時がある。 申し送りノートに確実に目で通した上で、確認印を押す。
前回の改善計画に対する取組み結果	知識・技術不足であるのと、ゆとりを持った対応に欠ける。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	8		14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	7			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	3		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9	5			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	9	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用時には体調・気持ちの変化を会話の中から確認している。 異常を感じた時の対応も自然な流れで出来ている。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自分は支援出来ているつもりであるが、気持ちが共有出来ているかどうかはわからない。 知識・技術不足であるのと、ゆとりを持った対応に欠ける。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ケアマネからの情報、又、送迎時家族より自宅での様子を聞き取る。 サービス中に利用者に関わり合いを多く持ち、密な関係作りを目指す。
---------------	---------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18 : 00～20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6	6	1人	13人 その他1人

前回の改善計画	地域の方々次第に疎遠になってきている。体力面等に配慮しながらも、地域行事に参加し、関わり合いを求めている。
前回の改善計画に対する取組み結果	高齢で体力的に難しくなっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	12	1		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	5		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		9	5		14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	10	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者家族を通して、地域とのつながり、活動が出来てきた様に思う。
--------	-------------------------------------------------------------------

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の中には、自らの行動で地域とのつながりを保っている人もいるが、こちらからの働きかけではなく、事業所内で完結してしまっている。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員が地域行事に参加し、地域の方々との交流する事で、地域資源の理解を深め利用者へ働きかけていく。
---------------	---------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	3人	人	13人 その他1人

前回の改善計画
個々の支援に対して工夫が見られない。個別支援に対して継続や支援の方法を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域資源を理解出来ていない職員が多い。具体的に事例を挙げて検討していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	8	4		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	4	1		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	11			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11			13 その他1人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修や情報収集を行い、職員間で情報交換、職員は現在の状況を把握出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員個々の向上心はあるが、統一されたケアになっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域資源を理解する為、利用者を取り巻く人・物を書き出し、整理してみる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	1人	3人	12人 その他2人

前回の改善計画	勤務体制によるものが大きい、できる範囲で参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	家庭の事情によるものが大きいと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		7	2	5	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	5	8	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	6	4	3	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	10	1	0	13 その他1人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪看との連携 ・ 病院での勉強会の参加（リハケア） ・ 地区掃除 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
勤務や家族の事情により参加困難な職員もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
これからも参加努力をしていく。又、職員会において、勉強会等参加職員による報告を行い、理解を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18:00~20:00)

7. 運営

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	6人	3人	11人 その他3人

前回の改善計画	運営推進会議の参加を呼び掛けているが、参加者が限られてしまう。内容を工夫する必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議の参加者が固定される傾向にある。ご家族全員に案内するのはもちろん、介護職員においても出来る限り参加する必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	5	6		14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	11			14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	3	8	1	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	5	4	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族から知り得た情報は管理者に報告。支援に活かしている。 リハビリ教室を会議後に開催し、シリーズ化し継続参加を図る。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方々との接点が少ない。
---------	--------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 運営推進会議はこれまで通り、ご家族全員に案内し、職員においても出来る限り参加し、地域の方々との交流に繋げる。
---------------	---------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	4人	1人	14人

前回の改善計画	参加努力はしている。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修に参加しても、その場限りで終わってしまっている事もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	9	1	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	7	2	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	2		4	8	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	7			13 その他1人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員間での情報交換、研修への参加、職場全体でのスキルアップを目指している。 研修会、他職種との交流もある。 資格取得に前向きに取り組んでいる。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 研修に参加して、実践で活かしている理想と現実のはざまの中で、出来ていない事もある。
---------	-----------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修会や資格取得の為に得た知識が現場で活かせる様、個々で知り得た知識を職員会で報告する。
---------------	-----------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 31 日 (18:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 秋山・尾藤・児島・大西佐・大西香・佐藤・吉岡
矢野・石川眞・守谷・兵藤・築野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	1人	5人	7人 その他7人

前回の改善計画	成年後見制度の例がない。
前回の改善計画に対する取組み結果	言葉掛けの不十分、個々の関わり合いが十分に出来ているかどうか。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4			14
②	虐待は行われていない	13				13 その他1人
③	プライバシーが守られている	6	8			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している					13 その他1人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	11	2			13 その他1人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 新聞や研修などで取り上げられる虐待から、自分自身を振り返る事が多い。 それらでの気づきを皆で話合っている。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 必要な場合のみ入り口を施錠。 人権やプライバシーにおいて意識していないと、守られていない事もある。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 言葉掛けが不十分で、個々の関わり合いが十分出来ているかどうか疑問である。 接遇において職員間でも意識し、利用者に対して節度ある行動に努める。
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人愛美会	代表者	石川 繁一	法人・事業所の 特徴	四国中央市川之江地区にある唯一の小規模多機能型居宅介護事業所で、特別養護老人ホームが併設された複合施設となっている。地元の利用者が多く、昔からある恒例行事を季節毎に取り入れ、理念である「ゆっくり・一緒に・楽しく」に添った支援を行っている。また、生活上のリハビリを取り入れ、身体機能の維持に努めている。ライフサポートプランを活用し、利用者の生活史を踏まえた支援となる様、コミュニケーションを大切にし、個々の関わりを深めている。職員は、研修参加や資格取得に前向きで、サービスの向上に繋がっている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 山田井の郷	管理者	秋山 操		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	6人	2人	4人	人	人	1人	3人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各自、自己評価を行う前に内容の読み込みを行い、理解した上で取り組む。	月に1度担当職員によるプランを作成している。本人からの聞き取りや様子で取り巻く環境に変化が生じている。これからも関わり合いを深めていく。	職員全員が地域行事の参加や個々の誕生会企画、又小規模行事企画を通して、利用者の思い出に添った支援を行っている。	今後も、スタッフ個々が勉強会等に参加し、レベルアップを図り質の向上に繋げる。
B. 事業所のしつらえ・環境			日当たりの良い2Fにあり、ベランダで日光浴をしている姿をみかける事もある。入り口は開放的で、明るい歌声も聞かれるが、事業所内を訪れる機会がないので、評価が難しい。	1Fホールで運営推進会議を開催している。時には室内を見て頂く機会を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々とイベント行事を通し、交流する機会を持ち、その中で親睦を深めていく。	地域の方々に夏祭り、文化作品展を案内し、多くの方々が来所された。	夏祭り・文化作品展を開催、又地域の方々の協力で竹を切り出し、そうめん流しで使用。門松作りでは、ベテランのアドバイスを頂きながら、一緒に完成する事が出来た。	特養と併設されており、小学生の社会見学、又各種団体の慰問もある。今後も交流の幅を広げたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	既存の行事に関しては、これからも出来る範囲で参加。クロッキーや手芸教室、サロンに参加する等、利用者個々が地域の方々と交流出来る様働きかける。	地域の方々の協力を得ながら、行事に参加させて頂いているが、身体機能の低下から参加出来ない方もいる。	既存の行事は継続参加していきたいと思うが、年を重ねる度に身体機能の低下から参加出来なくなっている。又地域の集まりの中で、知り合いが徐々に減ってきている。	既存の行事に関しては、これからも出来る範囲で参加。クロッキーや手芸教室、サロンに参加。利用者個々が地域の方々と交流出来る様サポートしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方々と気軽に寄れる場として、又会合の集合所として、1Fホールを利用して頂ける様働きかけている。	運営推進会議開催後に、病院リハビリスタッフによる、介護予防教室を開催。委員の方々や地域の方々、利用者にも参加して頂き、リハビリ運動を行う。	イベント開催時には、検討会を含め行事に関して活発な意見も聞かれたが、事業所報告で終わる時が多い。介護予防教室等、開催後に取り組み内容の検討が必要でないか。	運営推進会議開催時には、メンバーの方以外も参加出来る様な内容を加え、地域の方々との参加を呼び掛ける。
F. 事業所の防災・災害対策	今後も避難場所の再確認と災害時の対応の仕方を勉強会で行い、職員間で意識統一を図る。	防災ハザードマップにより、市内避難所の確認、又定期的な消防訓練を実施。救命救急の勉強会を開催し、適切な処置の学習を行っている。	消防訓練は衆知のところではあるが、非常災害における水害や土砂災害に対応出来る様、マニュアルの再確認と訓練が必要ではないか。	四国中央市では防災ハザードマップがあり、目のつく所に置いておき、災害に備え訓練に参加する。